

地方創生推進交付金（令和２年度実施事業）に係る効果検証結果

No	交付対象事業名	総事業費	交付金 充当経費	交付金 対象外経費	本事業における重要業績評価指標（K P I）						
					K P I		事業開始前	R1年度 （対前年度比） 【1年目】	R2年度 （対前年度比） 【2年目】	R3年度 （対前年度比） 【3年目】	累計 （対事業開始前）
1	先端技術体験がもたらす地域振興と人材育成 および交通不便地域の解消	82,805,800円	41,402,900円	41,402,900円	自動運転バス利用 者数	計画		20人	(200人増)	(200人増)	(420人増)
						実績		152人 (152人)	316人 (164人増)		(468人増)
					埼玉高速鉄道 鳩ヶ谷駅乗車人数	計画	10,972人 ※H29年度	(234人増)	(328人増)	(333人増)	(895人増)
						実績	11,718人 ※H30年度	11,990人 (272人増)	9,402人 (2,588人減)		(2316人減)
					S K I Pシティ 内科学館来場者数	計画	114,221人 ※H29年度	(1,985人増)	(2,109人増)	(2,109人増)	(6,203人増)
						実績	117,726人 ※H30年度	127,305人 (9,579人増)	40,207人減 (87,098人減)		(77,519人減)

《 内 訳 》

No	事業名	事業概要	総事業費	交付金 充当経費	交付金 対象外経費	外部有識者からの評価
1-1	近未来技術等社会 実装事業	交通不便地域の利便性の向上及び バス事業の維持を目指すため、 鳩ヶ谷駅からＳＫＩＰシティ間 において自動運転バスの実証走行を 実施するとともに、併せて、ＳＫ ＩＰシティにおいてパーソナルモ ビリティの実証走行を実施。 川口市立高等学校において先端科 学技術に関する講義及び科学館で の企画展を開催。	82,805,800円	41,402,900円	41,402,900円	・自動運転バスは必要だと思うが、普通自動車の自動運転も広まっていないため不安がある。 ・人口減少が加速しドライバー不足が深刻化すると想定される中、本事業が軌道に乗れば問題解消の一助となる可能性がある。 ・渋滞をなくさなければ自動運転バスのメリットも活かしづらくなるため、渋滞問題が解決されていればなお効果が高まる。 ・電気モーターは故障した際に動かせなくなるので、「脱炭素」がトレンドとなっている中でディーゼルエンジンといった内燃機関エンジンを使用したことはよいと思う。 ・パーソナルモビリティは必要なサービスだと思うが、高齢者が利用するためには利用方法の説明など課題が多いと思う。 ・ＫＰＩについては、コロナ禍という特殊要因のためあまり参考とはならない。